



令和3年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年11月8日

上場会社名 株式会社東計電算

上場取引所 東

コード番号 4746 URL <http://www.toukei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役副会長執行役員 (氏名) 甲田 英毅

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 瀬名波 潤

TEL 044-430-1311

四半期報告書提出予定日 令和3年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年12月期第3四半期の連結業績(令和3年1月1日～令和3年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期第3四半期	12,626	5.9	2,801	24.8	3,151	26.9	2,208	21.7
2年12月期第3四半期	11,924	6.3	2,243	6.2	2,483	6.7	1,814	1.9

(注) 包括利益 3年12月期第3四半期 3,559百万円 (276.7%) 2年12月期第3四半期 945百万円 (72.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年12月期第3四半期	239.82	238.34
2年12月期第3四半期	196.80	195.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年12月期第3四半期	32,671	27,749	84.8	3,117.27
2年12月期	33,473	27,075	80.8	2,927.57

(参考) 自己資本 3年12月期第3四半期 27,721百万円 2年12月期 27,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年12月期		0.00		125.00	125.00
3年12月期		0.00			
3年12月期(予想)				150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

令和3年8月2日に発表しました配当予想は、本資料において修正をしております。詳細は、本日発表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

3. 令和3年12月期の連結業績予想(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,711	5.4	3,632	25.1	4,123	25.9	2,897	15.6	317.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

令和3年8月2日に発表しました業績予想は、本資料において修正をしております。詳細は、本日発表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料の7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

3年12月期3Q	9,350,000 株	2年12月期	9,350,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

3年12月期3Q	457,161 株	2年12月期	109,995 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

3年12月期3Q	9,210,669 株	2年12月期3Q	9,221,588 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により個人消費が抑えられていたものの、8月下旬をピークに新規感染者は減少に転じ、大企業製造業においては、米中を中心とした世界経済の持ち直しを背景に5期連続で改善しました。一方、非製造業においては、業種によって景況感にばらつきがあり、冬場を迎えての新型コロナウイルスの感染再拡大の不安感などによる影響が懸念されております。また、原材料価格の上昇や半導体などの部品調達難が顕著となっており、政府の経済対策に期待が寄せられております。

当業界におきましても、ユーザ企業における情報化投資計画は、前年度の反動もあり、比較的堅調な水準にありますが、コロナ禍がいつ収束するか不透明な状況が長期化する場合、その影響が懸念されております。

このような環境のなかで、当社グループは、システムインテグレータとして、多様化するお客様のニーズにフレキシブルに対応するため、業種別ソリューション、アウトソーシング、ネットワークの3つの重点戦略を掲げ、積極的に営業展開を進めてまいりました。

具体的には、SaaS業務の売上拡大を企図し、商品化の促進やシステム運用業務売上の拡大を重点施策として掲げ、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高126億26百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益28億1百万円（同24.8%増）、経常利益31億51百万円（同26.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益22億8百万円（同21.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①情報処理・ソフトウェア開発業務

情報処理・ソフトウェア開発業務としましては、ソフトウェア業務、システム運用業務、ファシリティサービス業務等であります。当第3四半期連結累計期間においては、システム運用業務が堅調に推移するとともに、ソフトウェア開発業務においても前期に発生した不採算案件の収束などにより、売上高は115億24百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は25億77百万円（同25.8%増）となりました。

②機器販売業務

機器販売業務としましては、当社で開発したシステムに必要なハードウェアの販売等であります。当第3四半期連結累計期間においては、ソフトウェアの導入や更新に伴うハードウェアの入れ替え・増設等の増加が一服したものの、設定作業等の収入により収益を確保できたことにより、売上高は8億20百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益は1億72百万円（同21.2%増）となりました。

③リース等その他の業務

リース等その他の業務としましては、各種事務用機器のリース、ビル・マンションの不動産賃貸業務であります。当第3四半期連結累計期間においては、不動産賃貸業務は堅調であったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により建設業界向け事務機器レンタル収入が伸び悩んだため、売上高は2億81百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は51百万円（同1.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は326億71百万円となり、主として現金及び預金、有価証券、及びその他の流動資産の減少等により前連結会計年度末に比べて8億1百万円減少しました。総負債は49億21百万円となり、主としてその他の流動負債の減少等により前連結会計年度末に比べて14億76百万円減少しました。純資産は277億49百万円となり、主としてその他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べて6億74百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年12月期通期の連結業績につきましては、売上面につきましては、今後の見込みを見直した結果、4億25百万円下方修正いたしました。利益面につきましては、ソフトウェア開発における不採算案件を再度評価した結果、営業利益を64百万円、経常利益を69百万円、親会社株主に帰属する当期純利益を83百万円それぞれ上方修正いたしました。

令和3年12月期の個別業績につきましては、上記要因により、売上高を4億25百万円下方修正いたしました。利益面につきましては、経常利益を69百万円、当期純利益を83百万円それぞれ上方修正いたしました。

また、令和3年12月期の期末配当予想につきましては、現状の損益計画の進捗状況を考慮した結果、期末における配当予想を25円増額した1株あたり150円とさせていただきますことといたしました。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想及び配当予想につきましては、当社グループが発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要素や今後の経済状況、環境の変化等により、実際の業績及び配当は当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,627,730	358,610
受取手形及び売掛金	2,457,250	3,187,263
有価証券	1,367,500	—
商品	13,218	12,420
仕掛品	1,058,811	860,783
関係会社短期貸付金	12,291	12,291
その他	1,763,039	208,383
貸倒引当金	△229	△309
流動資産合計	8,299,612	4,639,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,047,103	2,021,751
機械装置及び運搬具(純額)	23,217	20,502
土地	4,498,025	4,498,025
その他(純額)	465,814	419,184
有形固定資産合計	7,034,162	6,959,464
無形固定資産		
のれん	1,999	499
その他	134,459	165,862
無形固定資産合計	136,459	166,362
投資その他の資産		
投資有価証券	17,872,060	20,788,160
退職給付に係る資産	80,475	76,894
繰延税金資産	1,001	1,342
その他	49,309	39,708
貸倒引当金	△42	△42
投資その他の資産合計	18,002,805	20,906,063
固定資産合計	25,173,427	28,031,890
資産合計	33,473,040	32,671,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	586,984	437,725
短期借入金	—	5,360
未払法人税等	708,200	509,950
賞与引当金	277,722	586,897
役員賞与引当金	9,480	—
その他	3,615,248	1,640,705
流動負債合計	5,197,635	3,180,639
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,892	25,511
繰延税金負債	1,167,997	1,708,225
その他	7,013	7,023
固定負債合計	1,199,902	1,740,759
負債合計	6,397,537	4,921,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,150	1,370,150
資本剰余金	1,400,542	1,410,857
利益剰余金	21,346,366	22,400,267
自己株式	△166,396	△1,911,080
株主資本合計	23,950,662	23,270,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,117,282	4,463,453
退職給付に係る調整累計額	△17,140	△12,278
その他の包括利益累計額合計	3,100,142	4,451,174
新株予約権	24,242	28,101
非支配株主持分	454	463
純資産合計	27,075,502	27,749,934
負債純資産合計	33,473,040	32,671,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)
売上高	11,924,884	12,626,223
売上原価	7,845,406	7,802,377
売上総利益	4,079,477	4,823,845
販売費及び一般管理費	1,835,584	2,022,460
営業利益	2,243,893	2,801,384
営業外収益		
受取利息	32,122	70,015
受取配当金	301,940	294,872
有価証券償還益	13,224	21,022
雑収入	49,442	38,644
営業外収益合計	396,729	424,554
営業外費用		
支払利息	211	537
有価証券償還損	153,268	69,760
雑損失	3,177	4,533
営業外費用合計	156,658	74,831
経常利益	2,483,964	3,151,108
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,238
投資有価証券売却益	388,061	102,815
特別利益合計	388,061	105,054
特別損失		
固定資産除却損	968	7,706
投資有価証券売却損	232,593	62,254
投資有価証券評価損	14,791	—
特別損失合計	248,353	69,960
税金等調整前四半期純利益	2,623,672	3,186,201
法人税、住民税及び事業税	883,325	1,032,533
法人税等調整額	△74,462	△55,252
法人税等合計	808,863	977,281
四半期純利益	1,814,809	2,208,920
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,814,789	2,208,901

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)
四半期純利益	1,814,809	2,208,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△874,837	1,346,171
退職給付に係る調整額	5,030	4,861
その他の包括利益合計	△869,807	1,351,032
四半期包括利益	945,001	3,559,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	944,982	3,559,933
非支配株主に係る四半期包括利益	19	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等及び繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自令和2年1月1日 至令和2年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ソフトウェア開発業務	機器販売業務	リース等その他の業務	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,675,857	952,687	296,338	11,924,884	—	11,924,884
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,439	—	3,302	5,742	(5,742)	—
計	10,678,297	952,687	299,640	11,930,626	(5,742)	11,924,884
セグメント利益	2,049,539	142,103	52,250	2,243,893	—	2,243,893

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自令和3年1月1日 至令和3年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ソフトウェア開発業務	機器販売業務	リース等その他の業務	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	11,524,312	820,207	281,703	12,626,223	—	12,626,223
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,701	—	4,545	6,246	(6,246)	—
計	11,526,013	820,207	286,248	12,632,469	(6,246)	12,626,223
セグメント利益	2,577,574	172,266	51,543	2,801,384	—	2,801,384

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。